令和５年度　年間授業計画

東京都立科学技術高等学校

教科	科目	
国語科	言語文化	
学年	単位数	
1学年	2単位	
教科担当者		
今井清光　大熊裕子		
使用教科書		
三省堂「新言語文化」		

教科の目標

【知　識　及　び　技　能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標

【知　識　及　び　技　能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元名：言語文化とは何か 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めること。	・教材 高階秀爾「実体の美と状況の美」 清少納言『枕草子』「春はあけぼの」 『伊勢物語』「渚の院」 ・一人１台端末の活用 Class Notebookの利用	【知識・技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがることを理解している。 【思考・判断・表現】 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 継続的な取組を通じて、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。	○	○	○	28
	単元名：漢語の身近さ（再）発見 【知識及び技能】 古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解すること。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚を持つこと。	・教材 「虎の威を借る」 ・一人１台端末の活用 Class Notebookの利用	【知識・技能】 古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 継続的な取組を通じて、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持とうとしている。	○		○	
	定期考査			○	○		
	単元名：物語は無限に展開する 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語や訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 読書に親しみ、自己を向上させること。	・教材 無住『沙石集』「児の飴食ひたること」 『説苑』「景公之馬」 芥川龍之介『羅生門』 ・一人１台端末の活用 Class Notebookの利用	【知識・技能】 古典を読むために必要な文語や訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 継続的な取組を通じて、読書に親しみ、自己を向上させようとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	単元名：物語に表れた心情表現 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚を持つこと。	・教材 『伊勢物語』「筒井筒」 ・一人１台端末の活用 Class Notebookの利用	【知識・技能】 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思考・判断・表現】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 継続的な取組を通じて、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持とうとしている。	○	○	○	32
	単元名：言語と文化の関係を捉え直す 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、その文化的背景について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚を持つこと。	・教材 櫂未知子「野焼」 ・一人１台端末の活用 Class Notebookの利用	【知識・技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、その文化的背景について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の言語文化の担い手としての自覚を持とうとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		
	単元名：言語表現の多様さを捉える 【知識及び技能】 古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して社会や他者に関わろうとする態度を養うこと。	・教材 『十八史略』「鶏口牛後」「先従隗始」 ・一人１台端末の活用 Class Notebookの利用	【知識・技能】 古典を読むために必要な訓読のきまりを理解している。 【思考・判断・表現】 内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通して社会や他者に関わろうとしている。	○	○	○	
	単元名：人物像を批評する 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つこと。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚を持つこと。	・教材 『平家物語』「木曾の最後」 ・一人１台端末の活用 Class Notebookの利用	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考・判断・表現】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 我が国の言語文化の担い手としての自覚を持とうとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	単元名：作品の背景を想像する。 【知識及び技能】 古典を読むために必要な漢詩のきまりを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めること。	・教材 李白「静夜思」　杜甫「月夜」ほか ・一人１台端末の活用 Class Notebookの利用	【知識・技能】 古典を読むために必要な漢詩のきまりを理解している。 【思考・判断・表現】 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。	○	○	○	18
	単元名：批評的に捉える 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して社会や他者に関わろうとする態度を養うこと。	・教材 兼好『徒然草』「神無月のころ」「家居のつきづきしく」 ・一人１台端末の活用 Class Notebookの利用	【知識・技能】 古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通して社会や他者に関わろうとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		
							合計 78